

館林市ヌマベーション連絡協議会について

1 館林市ヌマベーション連絡協議会の目指すもの

ヌマベーションとは、「沼辺 (Numabe)」と「イノベーション (Innovation)」を合わせた造語「ヌマベーション (NUMA-VATION)」で、連絡協議会は、官民一体となって日本遺産を活用したまちづくりを創造し推進するもの。

具体的には、シビックプライドの醸成と里沼ブランドの確立による地域活性化を図るとともに、事業者による積極的な事業展開を行っていただくもの。

(1) シビックプライドWING (里沼のまちの磨き上げ)

◎里沼の価値を新たに創り上げる『里沼の価値創造』

・水面利用等を含む新たな利活用と里沼の環境保全の融合を図る。

◎歴史文化を後世へ継承する『歴史文化継承』

・次世代に向けた里沼や構成資産の価値を伝えるボランティア支援など、保護・継承に取り組む。

(2) ブランディングWING (里沼を生かした地域経済の振興)

◎里沼を生かした観光及び農商工分野の自発的取組『フードシェッドプロジェクト』

・農商工連携による地域ブランド開発、コト消費型観光の自主開発に取り組む。

2 地域プロデューサーの役割

(1) 全体コーディネーター：為国孝敏氏 (NPO法人まちづくり支援センター代表理事)

【役割】シビックプライドWINGとブランディングWING間のコーディネート
両WINGと市タスクフォース (関係課) の間のコーディネート

(2) 地域プロデューサー

①シビックプライドWING：橋本淳司氏 (水ジャーナリスト)

岡屋英治氏 (館林文化財ボランティアの会会長)

【役割】趣旨に賛同するプレイヤー (企業、団体、個人等及び構成資産用所有者) とともに、「自然環境の保全と水面利用等を含む利活用」、「里沼文化及び構成資産の保護・継承」について、ともに考え創造していく。

②ブランディングWING：恩田昭一氏 (館林市認定農業者協議会会長)

【役割】趣旨に賛同するプレイヤー (企業、団体、個人等及び個人商店主) とともに、「里沼を生かした観光及び農商工分野の自発的事业への取組」について、ともに考え創造していく。

3 推進体制について

地域プロデューサーと市担当課とともに、各WING又は各グループ単位で趣旨に賛同するプレイヤーとの共通理解のもと、里沼の価値創造に関する様々な自主事業を展開していく。

今後、各WINGの事業展開を踏まえながら、日本遺産に関する効果的な情報発信や里沼文化の継承・発展を担う人材の育成に取り組んでいく。